

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回吉川市都市再生整備計画評価委員会
開 催 日 時	平成26年9月30日(火) 午前・午後2時00分から 午前・午後4時20分まで
開 催 場 所	吉川市中央公民館・302講座室
出席委員(者)氏名	鈴木隆委員、水上欽也委員、五十嵐惠千子委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	都市建設部 部長 関根勇、副部長兼道路公園課長 中山浩、 副参事兼都市計画課長 木村暢宏 都市計画課 吉川美南駅周辺地域整備担当主幹 岡田誠、 吉川美南駅周辺地域整備担当副主幹 木村克芳、 吉川美南駅周辺地域整備担当主査 堀江豊、 吉川美南駅周辺地域整備担当主任 渋谷陽子、 吉川美南駅周辺地域整備担当主任 千葉俊樹 道路公園課 補佐兼工務係長 秋谷裕司、補佐兼公園緑地係長 曾我幸央、 管理係主任 久富芳明
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	(1) 開会 (2) 議事(公開) 議第2号(仮称)吉川新駅新拠点形成地区都市再生整備 計画事後評価について(事後評価手続き等に かかる審議、今後のまちづくりについて審議) (3) 閉会
非公開の理由 (会議を非公開に した場合)	
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	次第、議案書、資料1、資料2、資料3、参考資料
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	水上委員、五十嵐委員
その他の必要事項	無

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

事務局

【(仮称)吉川新駅新拠点形成地区都市再生整備計画事後評価について】

《事後評価手続き等にかかる審議に関する説明概要》

- ・指標の計測時期や計測方法などをとりまとめた方法書は、2月に作成し、国に提出をしている。
- ・事後評価シートに示す「成果の評価」とは、事業の効果を把握し、目標の達成状況を検証するものである。本地区での成果の評価は、以下のとおりである。
 - ①まちづくりの目標に「芸術文化のまちづくりを推進する」を追加し、モニュメント設置事業を行った。
 - ②事業は12本予定していたが、公共事業費の縮減目的などから2本の事業は中止した。残りは全て完了している。
 - ③目標を定量化する指標は、3つとも目標値を達成した。

指標	目標値	従前値	評価値
自由通路の利用者数(人)	5,000	0	5,604
公園緑地整備率(%)	60	3	100
道路環境の満足度(%)	60	46	62

- ・定量的に表現できない定性的な効果発現としては、整備された道路や公園などについて、地域住民が自主的にクリーン作戦を行うなど、美化意識が向上している。
- ・事後評価シートに示す「実施過程の評価」では、(仮称)二郷半緑道整備にあたり、計画案の討議を行うワークショップの開催や、整備された公園緑地の維持管理をお願いする説明会など、住民参加によるまちづくりに取り組んできた。また、結果として5団体6箇所管理協定を締結している。
- ・事後評価シートに示す「効果発現要因の整理」では、市内部の横断的な組織で検討を行った。具体的には、どの事業がどの指標の改善に効果があったかを確認し、まちづくりに有効な事業の組み合わせを考察した。

指標	総合所見
指標1 (自由通路)	吉川美南駅の開業とともに、自由通路が供用開始され、西口の土地区画整理事業も完了したことから、利用者数が順調に増えている。
指標2 (公園緑地)	関連事業である土地区画整理事業と合わせ、計画的に公園整備を進めたことで、本地区の整備率が格段に向上した。
指標3 (道路環境)	関連事業である土地区画整理事業と一体的な道路整備が図れたことで、道路環境の向上に繋がった。

- ・事後評価シートに示す「事後評価原案の公表の妥当性」については、事後評価原案を7月1日から15日までの2週間、市都市計画課の窓口及びホームページで公表し、意見募集を行った。結果としては、ホームページのアクセス件数が159件であったが、意見の提出はなかった。

《今後のまちづくりについて審議に関する説明概要》

- ・本地区における事業実施前のまちの課題、事業実施後に達成されたこと、残された未解決の課題は以下のとおりである。

課題1：歩いて暮らせるまちづくりを実現する都市拠点の形成

達成されたこと	吉川美南駅西口は、自由通路や道路の整備により、歩いて暮らせるまちづくりに向けた基盤整備が完了した。
残された課題	なし

課題2：定住人口増加に繋がる交通利便性の向上と良好な居住環境の形成

達成されたこと	吉川美南駅西口は、道路や公園の整備が完了し、交通利便性の向上及び良好な居住環境の形成が図れた。
残された課題	なし

課題3：吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の早期実施

達成されたこと	自由通路の整備により、吉川美南駅を中心とした新たなまちづくりの準備が整った。
残された課題	吉川美南駅のポテンシャルを活かした、東口の土地区画整理事業の事業化が急務である。

課題4：吉川美南駅へのアクセス道路整備

達成されたこと	吉川美南駅西口は、土地区画整理事業と一体的な道路整備により、駅へのアクセスが整った。
残された課題	吉川美南駅東口は土地区画整理事業による計画的な道路網整備が必要である。

- ・事後評価シートに示す「今後のまちづくり方策の作成」のうち、効果を持続させるために行うことは、「道路、公園の適切な維持管理」、改善を図るために行うことは、「吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の早期事業化」と、「吉川美南駅東口の計画的な道路網整備」と整理した。
- ・本地区では、3つの指標全てにおいて目標値を達成したことから、フォローアップは対象外とした。
- ・当地区の経験を次期計画や他地区への活かすための分析は以下のとおりである。

(うまくいかなかった点)

- ・公園緑地整備率の指標が、事業実施量の成果であったことから、施設の有効利用を確認する利用者数などにすることが望ましかった。

(うまくいった点)

- ・住民参加のワークショップを実施したことにより、住民意見を取り入れた二郷半緑道の整備ができた。

【意見交換】

鈴木委員長

- ・本日の進め方としては、先ず事務局の説明に関し補足で確認したいことを伺い、その後に添付様式8に記載されている審議項目を順番に議論していきます。

- ・それでは、ただいまの事務局の説明に関し、質問等はございますか。

水上委員

- ・自由通路利用者数の目標値5,000人/日、公園緑地整備率の目標値60%は、どのような考えで設定していますか。

- ・また、歩道や緑道整備により、歩行者の安全性は確保されたと認識していますが、こういった安全性や安らぎといった観点での評価を取り入れるというのは、どうでしょうか。

鈴木委員長

- ・それでは、事務局で補足説明をお願いします。

事務局

- ・自由通路の利用者数目標値については、新駅の半径2kmを駅勢圏として設定し、そのうち吉川駅から新駅への利用に変更する人数と、平成25年時点で駅南地区や跡地地区の新規開発地から新たに新駅を利用する人数を推計し、目標値5,000人/日と設定しています。

- ・公園緑地整備率については、駅南地区の計画人口9,200人と、跡地地区の計画人口3,500人の合計12,700人に対し、都市公園法において、市街地の住民一人当たり公園面積の標準とされている5㎡を乗じた63,500㎡を本地区での100%水準としました。これを前提として、平成25年時点までに整備が予定されていた駅南地区と跡地地区の事業計画上の公園緑地面積と、

	<p>二郷半緑道の整備面積から、目標値を60%に設定しました。 なお、評価値で100%に達しているのは、事業計画上で公園緑地面積に計上はされていない、跡地地区の調整池用地を活用した桜の遊歩道などの整備をプラスしているためです。</p>
水上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性や安らぎといった観点については、今回は新市街地でのハード整備であったため、そのものについて特化した視点での評価指標を採用しましたが、今後まちづくりを進めていく他地区などでは、ご意見のあった観点も考慮しながら、指標設定を検討していきます。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・評価値の考え方としては、地域全体からみた道路整備率や歩行者に配慮した歩行者専用道路や緑道整備率、また生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率などとも感じました。
五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これは、今後の課題に対するご意見として捉えます。 ・他に質問はありますか。 ・自由通路利用者数の評価値の計測を、平日に限定した理由は何ですか。 ・道路環境の満足度の評価を、市民意識調査から準用しているのはどうしてですか。評価値が62%と低いですが、とてもよく整備されたので、実際の利用者に確認をすれば、もっといい評価が得られるのではと思います。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・五十嵐委員の質問2点について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自由通路利用者数の目標値に設定した5,000人/日の考えの中には、定期券利用の割合を加味しているため、吉川美南高校生なども多く利用している平日に計測をしました。 ・道路環境の満足度については、毎年実施している市民意識調査の中に、「他市町への道路や身近な道路の整備が進んでいると感じますか？」という設問を使用しています。これは、既存の調査を活用してよいとする国の考えに基づいて、計画策定時に設定したものです。 <p>今回の事後評価では、従前の数値が、整備後にどう変化しているかを確認する制度となっていますので、平成25年度の市民意識調査結果を評価値として活用しています。</p> <p>しかし、整備された道路を利用している歩行者などから、生の声を伺うのも、今後の道路整備にあたっては有効な手段であるため、次期計画の際などには検討していきます。</p>
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それではこれより、審議項目に沿って審議をしていきます。まず始めに「方法書」です。これは、各指標の計測方法などを設定しているものです。ただいまの質疑応答が補足説明になっていると思いますが、今回の事後評価がこの方法書に基

水上委員	<p>づいて実施されたかどうか、ご意見はありますか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ここでは、方法書に基づいてどうだったかということだけで、方法書に記載の方法自体がどうかという議論はしませんか。
	<ul style="list-style-type: none"> 議案書添付様式8に記載されている審議項目の「方法書」欄では、市が自ら作成した方法書に基づき、事後評価が進められているかを確認していただきます。
鈴木委員長	<p>しかし、市が設定した方法自体にも気になる点があれば、ご意見として伺います。</p>
水上委員	<ul style="list-style-type: none"> まず、方法書に基づいた手続きが行われているかという点について、水上委員はどう思われますか。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> 手続きとしては、方法書どおりに進められていると確認しました。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、方法自体に何かご意見はありますか。
水上委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどお話しした、生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率などの観点を、次の機会には取り入れてみてはどうかと思います。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> 今のご意見は、今後のまちづくりについての審議の中で整理する内容といたします。
五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> 方法書に基づいた事後評価が行われているかどうかについては、五十嵐委員はどのようにお考えですか。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局の説明から、方法書に基づいて事後評価が実施されていると確認できました。
	<ul style="list-style-type: none"> それでは委員会として、事後評価は方法書に基づいて、適正に実施されたと判断します。
水上委員	<ul style="list-style-type: none"> 次に、「成果の評価」を審議します。事務局の説明では、全ての事業が完了し、3つの指標も全て目標を達成したとのことでしたが、このあたりを含め、ご意見はありますか。
五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> これについては、特に意見はありません。
	<ul style="list-style-type: none"> 公園事業のコスト縮減や、6-38号線の道路改良事業の整備状況など、国の交付金が有効に活用されていると高く評価しました。さらに、自由通路には他団体からの負担金も充当していることに、工夫されているなど感じました。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> 五十嵐委員のご意見どおり、6-38号線は駅前に繋がる道路として、よく整備されているなど感じます。
	<p>また、公園事業でコストが縮減している点も評価しますが、縮減の要因は何ですか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 事業の設計にあたり、各担当がコスト縮減意識をもって、取り組んでいることと、公共事業の入札において、企業努力が働いた結果であると考えています。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> それでは委員会として、「成果の評価」については、十分な事

	<p>業成果が得られていると評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に、「実施過程の評価」を審議します。事務局の説明では、二郷半緑道の整備にあたり、ワークショップで住民意見を取り入れていること、また、整備された公園などは地元自治会の協力を得て、美化活動をしているとのことでした。 <p>このあたりを含め、ご意見はありますか。</p>
水上委員	<ul style="list-style-type: none"> 実施過程については、地域住民を取り込んで、上手に進めているなど感じました。
五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> 5団体で6箇所の管理協定を締結しているという事務局の説明がありましたが、どういう内容の協定なのか教えてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> まず協定に伴う報償については、1団体につき1万円の基準額と、公園面積に対し55円/㎡となっています。 協定に基づき管理してもらう内容は、常時の美化作業と最低年2回の除草、また、遊具等の不具合などにも気を配ってもらっています。
五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> 除草は年2回と決まっていますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 協定書の中に回数までは書いてありませんが、協定を結ぶ際の手引書には、大まかに2回となっています。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> 二郷半緑道の維持管理体制の構築とは、今後のことになりませんか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 二郷半緑道の一部では、あじさいを植えられている方々と管理協定を結んでおり、さらに区域を増やしてもらうようお願いもしています。また、それ以外の部分についても、沿線自治会に管理協定締結に向けたお願いをしています。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> それでは他にご意見も無いようですので、「実施過程の評価」について、委員会としては、住民参加のまちづくりが行われていたと判断いたします。
	<ul style="list-style-type: none"> 次に、「効果発現要因の整理」を審議します。事務局の説明では、市役所内部で検討組織を立ち上げ、指標ごとに事業の貢献度や効果発現要因を整理したとのことですが、整理結果を踏まえ、ご意見はありますか。
五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> 自由通路の今後の活用には、「東西の駅前に店舗などの利便施設を誘致することで、利用促進を図る。」とありますが、それ以外にも、地域を活性化させるため、商工・農業などの関係団体に、イベントを通してまちをPRしてもらうよう、施設を活用してもらうことが望ましいと考えています。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> 施設を頻繁に利用することは、よい管理に繋がるかなと思います。
五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> そのとおりで、管理も地元自治会だけでなく、利用団体とも

鈴木委員長	<p>協定を結んでいけば、よりよい維持管理ができるのではと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これについても、将来に向けてのソフト面の取組みになると思います。 ・他にご意見はありますか。
水上委員 鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・効果発現要因の整理は、問題ないと思います。 ・それでは委員会としては、どの事業がどのように貢献しているかという分析が、適切に行われていると判断します。 ・次に、「事後評価原案の公表の妥当性」を審議します。事務局の説明では、市のホームページと窓口で原案を2週間公表したとのことでした。また、これに対する意見の提出はなかったとのことです。
水上委員	<p>このあたりを含め、ご意見はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報案内とありますが、これは市の広報誌に掲載したということですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市には、毎月1日に発行される広報誌がありますので、ここに7月1日から15日までの期間、都市計画課の窓口とホームページで原案を公表している案内と、それに対する意見の募集を行っていることを掲載しました。
水上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これは今後のことになりますが、今回の交付金事業は、吉川市の中でも画期的な内容であったので、機会を捉えてPRをすることがよいと思います。それによって、国の交付金が有効に活用されていることを住民が知ることであり、また、住民自体のまちづくりへ参加する意欲に繋がると思います。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・このご意見も、今後に向けての課題とします。 ・それでは、他にご意見は無いようですので、委員会として、事後評価原案の公表は問題なく行われたと判断いたします。 ・次は、「その他」の審議ですが、これは今までにご意見があった内容に関連するもの、また、それ以外で事後評価全般に関し、ご意見があればお願いします。
水上委員 五十嵐委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 ・この地区では「歩いて暮らせるまちづくり」を目指しているとあります。駅前に駐輪場は十分整備されていると思いますが、西口には駐車場が不足しています。先日駅前で行われたイベントにも、旧市街地から参加したい高齢者の方などが、駅近くまで車でいきたいという要望がありました。 <p>今後の課題として、本地区のまち歩きなどに訪れる方のためにも、民間事業者の活用も踏まえ、駐車場整備が必要になるかなと思います。</p>
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの中には駐車場の整備も必要な側面ですので、ご意見と

<p>事務局</p>	<p>しては重要かなと思いますが、これはどの整理の中に扱うのが妥当でしょうか。事務局の考えはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心とした一体的なまちづくりで捉えると、これからは西口はソフト的なまちづくり、東口がハード的な整備となっていくので、東口整備計画の中で検討していきます。 <p>したがって、ご意見として整理する場所は今後のまちづくりの「その他」の中が妥当かと思います。</p>
<p>鈴木委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、今後のまちづくりへの課題として取り扱います。 ・次に「事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認」を審議します。今までの6点の審議を通して、全体がどうだったか、ご意見はありますか。
<p>水上委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いままで説明していただいた内容で、手続きは問題なく進められたと思います。
<p>五十嵐委員 鈴木委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手続きは丁寧に進められたと感じました。 ・それでは委員会として、事後評価の手続きは妥当に進められたと判断いたします。 ・次は、「今後のまちづくりについて審議」に移ります。まず、「今後のまちづくり方策の作成」を審議します。 ・先ほど、指標の考え方、まちづくりのPR、駐車場の整備など、今後のまちづくりに対し、ご意見をいただきましたが、それ以外については、どうでしょうか。
<p>水上委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のまちづくりの方策は、説明を受けた内容で基本的にはよいと考えています。 <p>ただし、西口の地域については、地区計画も定められ、持続的なまちづくり体制の準備はできているので、これからは住民と協調する様なソフト事業について、実効性ある取組が重要になってくると思います。</p> <p>また、施設の維持管理手法や、景観の観点からの屋外広告物の取り扱いなどについても、検討していくことが必要になってくると思います。</p>
<p>五十嵐委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東口については、まだ具体的なまちづくりイメージが無いのかもしれませんが、同じように都市再生整備計画を活用する際は、今回の経験を踏まえて進めていただきたいと思います。 ・西口に関しては、ソフト面が課題であると認識しています。越谷市では四季の里運営事業という、四季折々の花々を植栽するような事業を行っていますので、通常の維持管理事業に加え、こういった事業ができればと思っています。 ・また、芸術文化に関連する施設も整備をしていますので、商工などの関連団体などにより、これを活かし、地域が活性化するような事業ができればと思っています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・東口の開発にあたっては、駅のポテンシャルを活かし、行政の出張所や子育て拠点などの生活密着施設の整備を図り、定住人口、交流人口が増えるようなまちづくりを進めてもらいたいと思います。なお、その際には財源の問題もあるので、PFI方式などの民間活力の導入なども検討してください。また、治水対策も重要な課題のため、調整池の整備など、防災に強いまちとなるよう要望をします。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのご意見を総括しますと、今後は市が作成した今後のまちづくり方策に基づいて進めていただくことと、整備した施設を活用した、地域を活性化するソフト面の取り組み、また、福祉や防災に向けた取り組みも進めて欲しいということだったと思います。 ・それでは次に、「フォローアップ」の審議ですが、本地区では指標の目標値を全て達成しているのので、対象外との説明がありました。これについては、その考えでよろしいですか。
水上委員 五十嵐委員 鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・問題ありません。 ・問題ありません。 ・それでは委員会として、フォローアップは対象外と確認したとします。
水上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、「その他」の審議です。今までいただいたご意見の内容は、殆どがこの項目に整理することになると思いますが、それ以外でのご意見はありますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・質問になりますが、今回の事業で施設を整備したことによって、新たに発生した課題などはありますか。 ・例えば、道路については、整備をしたことにより、交通量の増加や大型車の流入などの問題があります。また、西口の道路整備が進んだことにより、未整備の東口との道路ネットワークの問題といったことも課題であると考えています。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・道路ネットワークの問題は長期課題になるかと思います。 ・それでは、「その他」については、今までのご意見を事務局で簡潔に整理してもらおうこととします。 ・それでは次の「今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認」の審議ですが、どうでしょうか。
水上委員 鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題ないと思います。 ・それでは委員会として、今までの意見を踏まえた上で、まちづくり方策は妥当であると判断します。
水上委員 鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは最後に、全てを通して何かご意見はありますか。 ・全体的によく取り組まれているので、特にありません。 ・新しい鉄道駅が出来て、新しいまちが出来ていくという、鉄

道駅と結びついたまちづくりは、明治以降の日本で行われてきたまちづくりの良きモデルです。

今回は、武蔵野線沿線でこのようなまちづくりが進み、それをフォローするための事業として、都市再生整備計画を上手に活用して新拠点整備を行い、今後はさらにソフト面を充実させて、このまちを活性化させていく可能性が感じられ、大変楽しみだと思いました。

- ・それでは、予定されていた審議事項が全て終了しました。審議の結果は、私から市長あてに答申をさせていただきますので、ご了承願います。
- ・これにて議長の職を解かせていただきます。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 26年 10月 15日

平成 26年 10月 15日

署名委員 水 上 於 也

署名委員 五十嵐 恵子